



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月24日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7739 URL <http://www.canon-elec.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒巻 久  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	70,904	△4.3	6,614	△20.7	7,156	△21.3	5,222	△17.8
25年12月期第3四半期	74,077	△7.7	8,342	8.4	9,092	13.4	6,352	37.3

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 5,400百万円(△20.6%) 25年12月期第3四半期 6,802百万円(46.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	126 15	—
25年12月期第3四半期	152 69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	97,805	75,309	76.9
25年12月期	96,013	73,953	76.7

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 75,261百万円 25年12月期 73,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	30 00	—	30 00	60 00
26年12月期	—	30 00	—		
26年12月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

なお、平成26年12月期の1株あたり期末配当金については未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	2.0	11,000	11.4	11,000	1.1	6,800	△6.2	163 46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	42,206,540株	25年12月期	42,206,540株
26年12月期3Q	1,301,118株	25年12月期	606,626株
26年12月期3Q	41,402,031株	25年12月期3Q	41,600,376株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

平成26年12月期の1株あたり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えた上で公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年9月30日）の経済情勢は、米国では個人消費が堅調に推移し、景気は回復しています。欧州の景気は持ち直しの動きが見られ、中国では緩やかに景気が拡大しています。国内経済は雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いています。為替は、前期と比べ米ドル、ユーロともに円安傾向で推移しました。

当社グループ関連市場は、デジタルカメラ市場はスマートフォンの普及等により縮小が続きました。ドキュメントスキャナー市場は、低価格、コンパクトタイプを中心に市場が拡大しました。情報関連市場は、企業の投資意欲に持ち直しの動きが見られたものの、市場内競争の激化により厳しい状況で推移しました。

このような中で当社グループは、世界トップレベルの高収益企業を目指し、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。また、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を積極的に推し進めてまいりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は709億4百万円（前年同期比4.3%減）、連結営業利益は66億14百万円（前年同期比20.7%減）、連結四半期純利益は52億22百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①コンポーネント

当セグメントにおきましては、セットメーカーのニーズに的確に対応し、デジタルカメラ用シャッターユニットや防振ユニット、絞りユニットなどの積極的な受注活動を展開してまいりました。しかし、デジタルカメラ市場がマイナス成長の下、厳しい状態で推移し、売上は減少しました。

レーザースキャナーユニットは堅調に推移しました。また、生産性の向上、構成部品の内製化等、生産体制の強化等を積極的に推し進め、引き続き原価低減に取り組んでおります。

これらの結果、当セグメントの売上高は382億20百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は51億55百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

#### ②電子情報機器

当セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーにおいて、imageFORMULA（イメージフォーミュラ）シリーズの「DR-M160/M160Ⅱ」やネットワークスキャナー「ScanFront330」などの中速機タイプでは売上を伸ばしましたが、米国市場向け販売が前年を下回るなど、厳しい状況で推移しました。

ハンディターミナルは、大画面端末「DX-360」の製造業への拡販活動を行い、大型商談を受注するなど積極的に市場開拓を図りましたが、売上は減少しました。

レーザープリンターは堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は251億71百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は25億12百万円（前年同期比32.8%減）となりました。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、情報関連事業において、サーバーやネットワークの構築等、インフラ関連やシステム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに、業務分析サービス（ログマネジメント）、銀行向け情報システム（entrance Banking）等の既存ソフトウェアの受注活動を積極的に展開してまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は75億12百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は46百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は978億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億92百万円増加しました。流動資産は591億66百万円となり、17億19百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものです。固定資産は386億39百万円となり、72百万円増加しました。うち有形固定資産は349億87百万円となり、1億87百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は224億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億36百万円増加しました。流動負債は202億55百万円となり、6億41百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、未払い法人税等の減少によるものです。固定負債は22億40百万円となり、2億4百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は753億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億55百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益計上と剰余金の配当、自己株式の取得によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.7%から76.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、平成26年1月28日に公表いたしました連結業績予想に変更ありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(連結売上高1,000億円、連結営業利益110億円、連結経常利益110億円、連結当期純利益68億円)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,426	27,387
受取手形及び売掛金	23,883	25,103
リース投資資産	207	194
商品及び製品	1,166	1,425
仕掛品	2,887	2,628
原材料及び貯蔵品	98	100
繰延税金資産	447	686
その他	2,068	1,640
貸倒引当金	△739	△0
流動資産合計	57,446	59,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,248	13,917
機械装置及び運搬具(純額)	2,457	2,880
工具、器具及び備品(純額)	3,615	2,902
土地	13,784	14,486
建設仮勘定	694	800
有形固定資産合計	34,800	34,987
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	735	654
破産更生債権等	-	1,163
繰延税金資産	1,257	1,347
その他	882	811
貸倒引当金	△0	△1,163
投資その他の資産合計	2,875	2,812
固定資産合計	38,566	38,639
資産合計	96,013	97,805

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,329	15,226
リース債務	82	62
未払費用	1,476	1,005
未払法人税等	2,649	1,468
設備関係支払手形	54	-
賞与引当金	366	1,444
役員賞与引当金	40	22
受注損失引当金	33	23
その他	1,582	1,003
流動負債合計	19,614	20,255
固定負債		
退職給付引当金	2,056	1,825
役員退職慰労引当金	252	247
繰延税金負債	10	20
その他	125	147
固定負債合計	2,445	2,240
負債合計	22,059	22,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	59,561	62,295
自己株式	△1,071	△2,401
株主資本合計	73,054	74,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221	143
為替換算調整勘定	403	659
その他の包括利益累計額合計	624	803
新株予約権	225	-
少数株主持分	49	47
純資産合計	73,953	75,309
負債純資産合計	96,013	97,805



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	74,077	70,904
売上原価	57,749	56,008
売上総利益	16,327	14,896
販売費及び一般管理費	7,985	8,282
営業利益	8,342	6,614
営業外収益		
為替差益	588	469
その他	165	108
営業外収益合計	753	577
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	-	5
その他	3	30
営業外費用合計	3	35
経常利益	9,092	7,156
特別利益		
投資有価証券売却益	675	-
新株予約権戻入益	9	225
その他	39	0
特別利益合計	724	225
特別損失		
固定資産除売却損	3	12
投資有価証券評価損	-	47
特別損失合計	3	60
税金等調整前四半期純利益	9,813	7,321
法人税、住民税及び事業税	3,716	2,379
法人税等調整額	△259	△278
法人税等合計	3,457	2,100
少数株主損益調整前四半期純利益	6,356	5,221
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△1
四半期純利益	6,352	5,222

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,356	5,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	△77
為替換算調整勘定	402	256
その他の包括利益合計	446	178
四半期包括利益	6,802	5,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,798	5,401
少数株主に係る四半期包括利益	4	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	40,629	25,290	65,920	8,156	74,077	—	74,077
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	54	642	697	178	876	△876	—
計	40,684	25,933	66,618	8,335	74,953	△876	74,077
セグメント利益 又は損失 (△)	5,578	3,737	9,315	△71	9,244	△902	8,342

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	38,220	25,171	63,392	7,512	70,904	—	70,904
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	50	675	726	262	988	△988	—
計	38,271	25,847	64,118	7,775	71,893	△988	70,904
セグメント利益 又は損失 (△)	5,155	2,512	7,668	46	7,715	△1,100	6,614

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。